

「一般常識」における「観光白書」からの出題分析

第1次筆記試験の「一般常識」では、毎年、「観光白書」から出題されていますが、2022年度の受験者としては、「観光白書」のどのような内容が、どのようなかたちで出題されたのかをしっかりと確認しておく必要があります。

本書では、2021年度と2020年度の「一般常識」問題の出題分析を示しましたので、ご参考になさってください。

要旨

2021年度の「一般常識」の問題では、20問中10問(50%)が、「観光白書」(令和2年版と令和3年版)から出題されました。

また、2020年度の「一般常識」の問題では、23問中15問(65%)が、「観光白書」(令和元年版と令和2年版)から出題されました。

このように、2022年度の「一般常識」受験者は、令和3年度と令和4年度の「観光白書」を見ておく必要があります。

以上

2021年度(令和3年度)「一般常識」問題の分析(重要！)

大問	問題番号	出題内容 (2番を除き、すべて観光関連の問題である)	観光白書(完全版)の 出典ページ 関連ページ	重要度
1	1	訪日外国人旅行者数	令和3年版(9ページ)	★★★
2	2	日本の人口動態		
3	3	ラグビーワールドカップ日本大会	令和2年版(71～73ページ)	★
4	4	2020年に文化観光推進法が成立・交付された	令和3年版(88ページ)	
5	5	訪日外国人旅行者が「旅行中に困ったこと」	令和元年版(39ページ)	★
6	6	MICEの機会にプレジャーを促進することの重要性	令和2年版(22ページ)	★★★
7	7	Living History(生きた歴史体感プログラム)促進事業の目的	令和3年版(129/189ページ)	
8	8	「人間国宝」は「重要無形文化財」の保持者である。		★
9	9	日本で一番寺院が多い都道府県(=愛知県)		★
10	10	「パッケージツアー」は、旅行業法上何というか。		★
	11	「ウポポイ」の正式名称(=民族共生象徴空間)	令和3年版(158/13ページ)	
11	12	ホテル・旅館を所管する省(=厚生労働省)		★
	13	空港の出入国管理を所管する省(=法務省)		★
12	14	国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」関連問題		
	15	国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」関連問題		
13	16	働きながら休暇を取る過ごし方(=ワーケーション)	令和3年版(57/58/109ページ)	★
14	17	「日本版 MaaS」とは	令和3年版(123/184/186/200)	★
15	18	「日本遺産」とは	令和3年版(129ページ)	★
	19	2020年に無形文化遺産に新たに登録されたもの		★★★
	20	世界自然遺産に登録勧告する機関の略称(IUCN)		

2020年度(令和2年度)「一般常識」問題の分析(重要！)

大問	問題番号	出題内容 (18番を除き、すべて観光関連の問題である)	観光白書(完全版)の 出典ページ 関連ページ	重要度
1	1	オリンピック東京大会の選手村の場所		
	2	首都高速道路の高架構造の地下化		
	3	コンセッション方式 とは(Concession)		
2	4	ICCA の国別国際会議の開催件数	令和元年版 18ページ	
	5	国際観光旅客税 (2019年大問2に出題されてい		★★
	6	「 明日の日本を支える観光ビジョン 」(←令和元年観光白書のはじめにが出		★★
3	7	2019年の訪日外国人旅行者一人当たりの宿泊費	令和2年版 15ページ	★
	8	日本の旅行収支	令和2年版 16ページ	★
	9	訪日外国人の旅行消費額の構成比	令和2年版 13ページ	★
	10	訪日外国人旅行者の宿泊日数		★
	11	訪日外国人旅行者の都道府県別延べ宿泊数	令和元年版 272ページ	
4	12	統合型リゾート (2017年大問6に関連問題) コラム I-1 からの出題。	令和元年版 20ページ	★★ ★
5	13	観光地域づくり法人(DMO) Destination Management/Marketing Organization コラム I-5 からの出題。	令和元年版 50～51ページ	★
	14	スマート・ベニュー(Smart venue)		
	15	ディスカバー農山漁村の宝	令和元年版 162、240ページ	
6	16	国立公園満喫プロジェクト	令和元年版 126ページ	
7	17	働き方改革に関する法律	令和2年版 201ページ	
8	18	プライドパレード(Pride Parade) (文化に関する)		
9	19	2018年の国際旅行者数	令和元年版 4ページ	★
	20	2018年の国際旅行者数の多い国	令和2年版 6ページ	★
	21	2018年に国際収支の最も大きかった国(米国)	令和2年版 8ページ	★
	22	2018年に国際観光支出が最も大きかった国(中	令和2年版 9ページ	★
10	23	観光における危機管理(海外危険度レベル)	外務省のホームページ	★

●問題分析

- ① [ガイドライン](#)には、「現代の日本の産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄(日本と世界との関わりを含む。)のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問う」とあるが、近年(特に、2019年度、2020年度)、これを無視、逸脱し、産業、経済、政治及び文化については、ほとんど問われることがなくなってきた。即ち、全国通訳案内士試験としては、「[ピント外れな問題のオンパレード](#)」である。
- ② 出典としては、[令和元年版「観光白書」](#)から7題、[令和2年版「観光白書」](#)から7題の計14題が出題された。
- ③ [令和元年版「観光白書」\(要旨版\)](#)からは、問題番号4と19の2題のみだった。
- ④ [令和元年版「観光白書」\(完全版\)](#)からは、[コラム](#)から2題出題された。[コラム](#)は完全版のみに掲載。

●対策

①2021 年度試験に対しては、[令和 2 年版「観光白書」](#)、[令和 3 年版「観光白書」](#)の両方を見ておく必要がある。

②令和 2 年版「観光白書」については、下記の六つのコラムが最重要である。

コラム I-1

コラム I-2

コラム I-3

コラム I-4

コラム I-5

コラム I-6